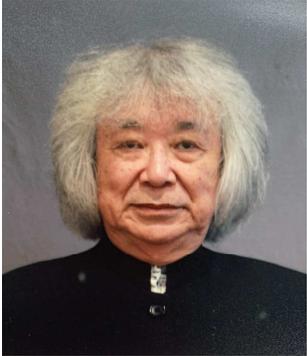


## 令和5年度福岡県地域文化功労者表彰の受賞者について

(年齢は、令和5年11月1日現在)

氏名 〈住所〉 年齢 (活動年数)	職名	功績概要
 <p>にのみや 肇 二宮 肇 〈春日市〉 81歳 (51年)</p>	<p>NPO福岡 国際バレエ 劇場相談役 / 二宮バレエ 学院会長</p>	<p>平成3年、日露国際文化交流公演を支える会 (現 NPO福岡国際バレエ劇場) を創設。以来、バレエを志す子どもたちに、海外の芸術家と共に舞台を作り上げる国際交流の機会を提供し、その心身の育成に尽力。 また、平成18年からは、ふくおか県民文化祭でバレエフェスティバルを開催し、県内におけるバレエの普及・振興に貢献。</p> <p>(活動歴)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日露国際文化交流公演を支える会 (現 NPO福岡国際バレエ劇場) 理事長 H3～R5.9月 (32年) 相談役 R5.10月～現在</li> <li>※H18～現在までに、ふくおか県民文化祭にて、バレエフェスティバルを計15回開催。</li> <li>二宮バレエ学院 会長 S47～現在 (51年)</li> </ul>
 <p>たかみ じゅんいち 滝 純一 〈遠賀郡岡垣町〉 79歳 (56年)</p>	<p>画家 / (一社) 二紀会理事 / 福岡教育大学 美術科 名誉教授</p>	<p>東京教育大学大学院 (絵画専攻) 在学中であった昭和42年以降、二紀展に毎回出品するなど、画家として活動。二紀展を含む数々の美術展で多数入賞を果たすなど、国海外で幅広く活躍。 昭和62年からは、福岡教育大学美術科教授として後進の育成に尽力。また、九州・山口の児童生徒を対象とした西日本読書感想画コンクールの審査委員長を長年務められたほか、(一社)二紀会福岡支部では役員を歴任するなど、本県における美術界の発展に大きく貢献。</p> <p>(活動歴)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>福岡教育大学美術科 教授 (現 名誉教授) S62～現在 (36年)</li> <li>一般社団法人二紀会 福岡支部事務局長 H10～H20 (10年) 福岡支部長 H20～H28 (8年) 理事 H23～現在 (12年)</li> <li>西日本読書感想画コンクール審査委員長 H18～R3 (15年)</li> <li>海外における諸活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>S51 イタリアA・A・I・I留学 (フレスコ、出光奨学金)</li> <li>S57 ウィーン美術学校留学 (テムペラ・文部省在外研修員)</li> <li>H11 ポーランドA・S・P留学 (アイコン・文化庁特別芸術家在外研修員)</li> <li>H15 41st NEWYORK FILMFESTIVAL公式ポスター原画制作</li> </ul> </li> </ul> <p>(主な受賞歴)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>S47 第26回二紀展 二紀賞</li> <li>S60 第2回日本青年画家展 優秀賞</li> <li>S63 第1回前田寛治大賞展 佳作賞</li> <li>H3 第2回両洋の眼・現代の絵画展 推奨賞</li> <li>H6 第48回二紀展 文部大臣奨励賞</li> <li>H15 第17回両洋の眼・現代の絵画展 河北倫明賞 福岡市文化賞</li> <li>H28 第70回二紀展 内閣総理大臣賞</li> </ul>

(年齢は、令和5年11月1日現在)

氏名 〈住所〉 年齢 (活動年数)	職名	功績概要
 <p>かわさき まさこ 河崎 正子 (二代目 博多小蝶) 〈福岡市南区〉 70歳 (52年)</p>	県無形文化財 「博多独楽」 保持者	<p>初代筑紫珠楽の長女として生まれ、幼少の頃より博多独楽の手ほどきを受ける。昭和46年に正式入門して以来、国内外で数多くの公演を成功させるなど、170年ぶりの女性独楽師として活躍。</p> <p>伝統的な博多独楽の技法を高度に体现するとともに、一時は途絶えた芸種の復活に精力的に取り組むほか、長男への技芸伝授や地元小学校での体験教室開催など、博多の伝統芸能である博多独楽の継承・発展に尽力。</p> <p>(活動歴) S46 博多独楽へ正式入門 (～現在、51年) S61 二代目筑紫珠楽 襲名 H2 博多独楽が「福岡県知事指定特産工芸品」に指定 H18～R1 子ども体験教室 (14年) H21 博多町人文化連盟 表彰 H24 二代目博多小蝶 襲名 H26 福岡県無形文化財「博多独楽」保持者認定 ※その他国内外において公演多数。</p>
 <p>ふくおかけんしんかい 福岡県詩人会 〈福岡市中央区〉 (57年)</p>	—	<p>昭和41年、県内の詩人の相互交流や現代詩の普及を目的に創設。発足と同時に、「福岡県詩人賞」を設立し全国に発信するほか、県内各地の献詩大会では長らく選考を務めるなど、詩を通じた感性や表現力の育成に尽力。</p> <p>韓国をはじめとする海外の詩人や異なるジャンルの表現者との交流も深めるなど、本県の詩壇の発展に貢献。</p> <p>(活動歴) ・福岡県詩人賞の贈呈 S41～現在 (計58回) ・福岡県詩集の発行 S41～現在 (計6冊発刊) ・「秋の詩祭」を毎年開催 S41～現在 (58年) ・献詩の選考 白秋献詩 (柳川市) (計53回) 野田宇太郎生誕献詩 (小郡市) (計33回) 安西均献詩 (筑紫野市) (計7回)</p>